様式第１号

令和　年　月　日

「シン・ものづくり企業」のためのデジタル変革応援事業　支援申請書

公益財団法人ふくい産業支援センター

　理事長　様

郵便番号

住　　所

事業者名

代表者名

担当者氏名

連絡先　　　TEL

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　FAX

　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail

「シン・ものづくり企業」のためのデジタル変革応援事業による支援を希望しますので、下記のとおり申請書類を提出します。

記

提出書類

　（１）申請者の詳細（別紙１）

　（２）現況および実施計画書（別紙２）

　（３）［法人の場合］直近三期分の決算書資料の写し

　　　 ［個人の場合］直近三期分の確定申告書の写し

　（４）会社および主な事業の概要がわかるもの（パンフレット等）

（別紙１）

申請者の詳細

○企業情報

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業・団体名 |  | | 代表者名 | （役職）  （氏名）  （年齢）　　　　歳 |
| 所 在 地 |  | |
| 創 業 年 |  | | 資 本 金 | 千円 |
| 業　　種 |  | | 従業員数 | （役員）　　　　　　 人  （正社員）　　　　　　 人  （パート・アルバイト）　　　　人  （合計）　　　　　 人 |
| 売上構成 | 事業（取扱品目）内容 | 売上構成 |
|  | ％ |
|  | ％ |
|  | ％ |
|  | ％ |
| 事業の概要 （主な商品やサービス） |  | | | |

○財務状況 　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 直近期末 | １期前 | ２期前 |
| 年　　月期 | 年　　月期 | 年　　月期 |
| 売上 |  |  |  |
| 売上総利益 |  |  |  |
| 営業利益 |  |  |  |
| 経常利益 |  |  |  |
| 当期利益（税引後） |  |  |  |
| 減価償却費 |  |  |  |
| 総資本（負債＋純資産） |  |  |  |
| 自己資本（純資産） |  |  |  |

（別紙２）

現況および実施計画書

１　事業の現状と経営の考え方

|  |
| --- |
| ※以下の事項を参考に、計５００～１，０００字程度で記入してください。  ※以下の事項はあくまで参考です。自社の状況に即してご記入ください。  ・現在の事業の概要（主な商品・サービス、業界の特性など）  ・自社を取り巻く環境や市場動向、経営上の課題認識  ・現在の重要顧客に対して提供している価値と、自社が選ばれている理由  ・創業時または事業承継時の想い、経営において大切にしている価値観や方針 |

２　ＤＸに取り組もうと考えた背景と検討状況

|  |
| --- |
| ※以下の事項を参考に５００～１，０００字程度で記入してください。  ※以下の事項はあくまで参考です。自社の状況に即してご記入ください。  ・ＤＸを意識するようになった契機や背景（課題や外部環境など）  ・現在社内で行っている検討や準備の状況（プロジェクトチームの有無など）  ・経営者としてＤＸ推進に向けた意欲や関わり方 |

３　ＤＸの推進や経営改革によって実現したい将来の姿

|  |
| --- |
| ※１，２で記入した内容を踏まえ、ＤＸ推進や経営改革によって、自社が将来的にどのような姿を目指すのかについて、以下の事項を参考に、計５００～１，０００字程度で記入してください。  ※この内容は、採択後に専門家とともに検討・深掘りしていく予定ですので、現時点での想定ベースでかまいません。  ※以下の事項はあくまで参考です。自社の状況に即してご記入ください。  ・ＤＸを通じて、経営や事業活動におけるどのような変革を実現するか  　（例：意思決定のスピード向上、提供価値の高度化、新たな収益モデルの構築など）  ・上記の実現に向けて、業務体制や働き方、組織の在り方をどのように変えていくか  ・将来的にどのような企業像、事業ポジションを確立するか  ・単なる業務改善にとどまらず、会社全体がどのように変わっていくのか、経営の視点から将来像をどう描くか |

４　ＤＸの推進や経営改革によって得られる強み・競争優位性

|  |
| --- |
| ※３で記入した「将来の姿」を実現することで、自社が発揮できる強みや競争上の優位性について、以下の事項を参考に５００～１，０００字程度で記入してください。  ※この内容は、採択後に専門家とともに検討・深掘りしていく予定ですので、現時点での想定ベースでかまいません。  ※以下の事項はあくまで参考です。自社の状況に即してご記入ください。  ・業務や働き方の変化によって、顧客対応や提供価値はどう向上するか  ・その改善が、顧客や取引先にどのようなメリットをもたらすか  ・結果として、顧客が競合他社でなく自社を選ぶ理由としてどんな強みが生まれると考えるか |

５　社内におけるデジタル技術の活用状況

|  |
| --- |
| ※現在、社内で活用しているデジタル技術について、以下の事項を参考に記入してください（導入済みのツール・システムに限らず、検討・試行段階の取組も含めて構いません）。  ※箇条書きでも文章でも、記入しやすい方法で記入してください。  ※以下の事項はあくまで参考です。自社の状況に即してご記入ください。  ・どのような業務で、どのようなシステムやツール（例：会計ソフト、販売管理システム、チャットツール、クラウドサービスなど）を使用しているか  ・Excelやスプレッドシートなどを活用している業務があるか  ・社内・部門間・外部との情報共有や業務連携は、どのような方法で行っているか |

６　本事業に取組む主な組織（部署）体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 組織（部署）名 |  | 人数 |  |
| 主担当者①  （役職・氏名） |  | | |
| ①の実施する職務・役割 |  | | |
| 担当者②  （役職・氏名） |  | | |
| ②の実施する職務・役割 |  | | |
| 担当者③  （役職・氏名） |  | | |
| ③の実施する職務・役割 |  | | |

（注１）組織（部署）の担当者は、最低でも１名（主担当者）を記入すること。

（注２）担当者の欄は、必要に応じて行を追加しても差し支えない。

様式第２号

令和　年　月　日

補助金事業への応募に関する報告書

公益財団法人ふくい産業支援センター

　理事長　様

住　　所

事業者名

代表者名

担当者氏名

連絡先　　　TEL

FAX

E-mail

令和　年度 「シン・ものづくり企業」におけるデジタル変革応援事業において支援を受けた内容に基づき、下記のとおり補助金事業に応募しましたので、報告します。

記

○補助金制度名および申請枠

○申請事業名

○申請日

○添付書類

・補助金事業の応募書類一式

様式第３号

令和　年　月　日

補助金事業に応募した事業の採否に関する報告書

公益財団法人ふくい産業支援センター

　理事長　様

住　　所

事業者名

代表者名

担当者氏名

連絡先　　　TEL

FAX

E-mail

令和　年　月　日付けで報告しました、（補　助　金　制　度　名　を　記　入）に応募した事業について、補助金事務局より下記のとおり結果の通知がありましたので、報告します。

記

○採否結果（該当するものに○を記入すること。）

採択　　・　　不採択・　　その他（　　　　　）

○交付内示額（補助金交付予定限度額）

○採否結果を受けた今後の予定

○添付書類

　・応募申請案件に係る採否通知